

第二回感染症対策オンラインセミナー ～宿泊施設における対策留意点～

【三河先生】

コロナウイルス感染症、新型コロナウイルスですね、接触感染・飛沫感染、特に飛沫感染がメインです。

飛沫は、人と人が近くにいたときにうつし合うものです。

ですから、人と人がマスクなしで対面しているような状況がもっとも危険度が高いと考えてください。

さらに、小さい小さい飛沫、しぶきがフワフワ浮いて、通常の飛沫が1～2メートルではなくて、3、4、5メートルくらいフワフワ浮いて、飛んでいくという感染経路があるのではないかと考えられています。

空気感染とは、少し違うが、よりすごく飛ぶ飛沫感染があると・・・

フワフワ浮いている状況というのは、換気が悪いこと・密室であること・長時間滞在していることの3つが危険ということになります。

そういった場をできるだけつくらないことが大事です。

今回の観光の果樹農園さんでは、外のオープンスペースと内があります。

オープンスペースでは、人と人がマスクなしで対面している時間を減らすことが大事になって、施設内のスペースでは、マスクをきちんとしてもらふことと、拭いたりする、接触感染対策が大事になってきます。

そういうお話ができればと思っております。

現在、山梨県の感染状況は残念ながら、外からウイルスが来るという状況ではありません。

もう、県内で広がっています。

なので、観光業界の方々が、県外から人が来て、その人からうつされるのではないかと心配をされているようですが、すでに職員が山梨県のなかにいるんだけど、そこでうつって広がるという状況を想定してください。

もちろん、外から来るお客さんからもらわないように心配をすることが正しいことですが、外に県外に出ていない人から県内で普通に働いている人と働いている人で感染し合う状況がもう、今後は広がるでしょう。

そう考えると職員の健康の状況と職員が休む場所とか職員がマスクしてますか、とか職員がちゃんと休める環境ありますか、ってことがどんどんどんどん重要になっていきます。

そのことはちょっとあの今ここで確認をしておいてください。

質問に答えちゃいますか。

では、2回目の質問でもらってる質問を先に答えていきます。

質問： 沢山のお客様に来てもらってます。換気や順番待ちなどを改めて良い方法を知り

たい(観光果実園 2回目、3回目参加)

回答： そうですね。

たくさんのお客さんに来てもらっています。

ここに来て、ものすごいお客さんが来ていて、びっくりしました。

換気や順番待ちっていうのは、その場所みないとわからないんで、今日のこちらでどんな風になってるか見て頂いて、それを応用してください。

質問： 店頭での果樹陳列、試食、空気清浄機は屋外でも効果あるのか、その他畑での対応に関すること全部。

回答： 屋外での空気清浄機は効果がありません。むしろオープンだから必要ないでしょう。果樹陳列っていうのは、置いてあるってことですよね。ぼん！って。

それ自体は特別問題ないでしょう。人がいっぱい、桃とか葡萄とかを触っちゃうんだけど箱を触るんだけどってことがあれば、そこを拭くっていうのは、ナンセンスです。

拭いてもすぐ触るし、あんまり触らないでくださいということが1つ。

もう1点は、どこか触ったら手を洗ってください。

お客さんには、手を洗えるスペースやアルコールでシュッシュできるスペースを

職員の人には同じく、良いタイミングで定期的なタイミングでアルコールとか手指衛生ができたり、石鹸で手を洗うスペースを確保してください。

畑での対応に関すること全般と書いてありますが、すみません。畑での対応が私にはよくわからないので、この後畑に行ってから農園の人に質問してもらって答えませう。

質問： 観光ぶどう園の開店に伴い、すべきコロナ感染対策を教えてください。

回答： これは、今からやりましょう。

質問： 果物の試食をした容器の洗い方、殺菌の方法はどのようにしたらよろしいでしょうか？

回答： これはですね、特別その洗い方や殺菌の方法は、あまり心配なくて結構です。中性洗剤で普通に洗ってください。それで充分です。充分というのは、ある程度の殺ウイルス効果も期待できるということです。

そもそも果物を食べた人は、全員コロナウイルスに感染してるわけじゃないので、まあ、せいぜい100人に1人とか・・もっと少ないかもしれません。
ですから、中性洗剤で普通に洗ってもらうだけで結構です。
食器洗ったら、自分の手を最後に洗ってください。

質問： 感染しない、させないためのぶどう狩りの方法や配送ぶどうの注意点。

回答： ぶどう狩りは、今から行きますので、そこでお答えします。
配送ぶどうの際のしない、させない特別な配慮は必要ありません。
しいて言うなら、手をちゃんと洗った後におこなう。

質問： 食べ放題、お店で受付をして畑にて行います。食べかすは、どのように処理するかを知りたいです。今までは、それぞれお客さんに1個ずつバケツを渡してその中に食べかすを入れて、お店に持ち帰ってきてもらい、1日の終わりに畑の穴に処理していました。

回答： それぞれの農園でやり方は違うと思いますが。基本的に今までと同じでいいと思います。
食べかす自体に感染性がもし、万が一、あったとしてもほとんど無いですけど、もし、気になるんだったらゴミ箱に蓋が出来ればいいし、ゴミ箱に蓋がなくてもゴミの袋を締めたら、自分の手を洗ってください。これで充分です。
石鹸で手を洗えばそれで充分です。
あの畑の穴に処理していただいても、全然問題ありません。
どこかで種がいきなり笑い出して、飛沫を飛ばすことはありません。

質問： お客さんが、ブドウをとる際、1房1房手で触って回して見て、ブドウを選んでいきます。触らないように言っても触ります。どのような対応が良いですか？

回答： 触らないように！って言うのがまず、一つでしょう。
もう一点は、触ったら手が洗えるような場所を作っておくことだと思います。
お客さんに関しては、みんなが触ったぶどう(触らない前提なんですけどね)触った後に、こちらにアルコールが置いてあります。あるいは水場に石鹸が置いてあります。
どうぞこちらで手をお洗ってください。
それでいいと思います。

質問： 従業員は、マスク、検温をしています、手袋とフェイスシールドは必要ですか？

回答： どの場面かちょっとわかりませんが、まずマスクは特に狭いスペース、人が近くにいたり、お店の中ではマスクは必須です。

体調管理は検温だけでは不十分です。

熱が上がらないコロナの患者さんは、いっぱいいます。

ですから、のどの症状、まあ鼻水は微妙だけど・・・一応、鼻水・咳・だるさ・頭痛・下痢は少ないけど・・・こういう感染を疑う症状があったら休みなさい！ということが大事で

しょう。

例えば、咳があったら休むってのは、ナンセンスなんだったら咳と喉の痛みとか咳と熱とか、今言った症状のうちの2つあったら、これ休まなきゃいけないよ。

ってするのは、どうでしょうか？

手袋とフェイスシールドですが、手袋は必要ありません。

手袋を付けていると、なんとなく自分は安心な気がしますが、そもそも手からウイルス

スやバイ菌は入りません。

今回のコロナウイルスが入るのは、目と口の粘膜ですから、ここを最終的に触らなければ大丈夫です。

手袋が何でダメなのって言うと・・・ちょっと想像して欲しいですが、手袋をしたままでいろんなところを触っています。

悪い例ですけど・・・あんまり良い例じゃありませんけど・・・

手袋にタンとかうんちが付いていたとして、その手袋で他の人みんなに触っているという状況です。

従って、手は全く清潔ではない。

自分を守っている気にはなっているけれど、その手袋で顔を触っていたら意味がありません。

大事なのは手袋をすることじゃなくて、いろんな人に触ったら、手をしっかり洗うことです。手袋をつけたままいろいろすることは、逆に不潔です。

フェイスシールドが有効な場面は、マスクをしてない相手と特に、合い対さなければならぬ場面か、相手がマスクをしていても長時間、接しなきゃいけない場面です。

例えば、あるかわかんないですけど、店頭で桃、どれがいいかなーと商談を20分かするとか、10分15分するとかそういう時には、フェイスシールをつけているとより安心で安全でしょう。

ただ、人と合い対する時間が長くなければ、フェイスシールをつける必然性はあり

ません。

質問： 飾り棚の商品に触って気が変わった際の商品や、お客さんが座っていた椅子テーブル、トイレのアルコール消毒はどのようにしたら良いですか？

回答： 先ほど言ったように商品を消毒するっていうのはあんまり、理にかなっていませんから、そういうのを触った後に手が洗える場所を作る。

お客さんに対して。

職員に関しては、手を洗うタイミングを決めたり、しょっちゅう手を洗うようにする。そちらが安全につながるでしょう。

お客さんが座っていたイスやテーブルは精々、1日2回位拭けばいいのでは、ないでしょうかね。

始める前と終わった後、途中で1回あの消毒しますね。って拭いて見せると安心効果は高いと思います。

拭く際には、アルコールか70%以上のエタノールか、次亜塩素酸ナトリウムを使うのが効果的です。

次亜塩素酸水は効果がありませんので使わないでください。

次亜塩素酸ナトリウムは結構、塩素臭がするので、消毒した感は凄いですけど、物が腐食しますので、場面によっては、アルコールか次亜塩素酸ナトリウムどっちを使うか、ちゃんと決めた方が良いでしょう。

トイレの消毒は、これもしょっちゅうやってると大変ですからね。

朝1回と終わった後1回、もしどこかでやるんだったら、真ん中で1回やってもらっても良い。

拭く場所は、トイレのドアノブ・手摺・座面・トイレトペーパーを使うところですね。

みんなが触りそうなところを拭いて頂ければそれでよいでしょう。

質問： トレッキングツアーにおける留意点を教えてください。

回答： ごめんなさい。

さっき、トレッキングツアーってなんですか？って聞くような私なので、適切にお応えできるかわかりませんが、おそらくトレッキングツアーに来るのはバスで、バスの中の感染対策で必要なこと。それと、バス降りて集合してテクテク歩く時はバラバラにオープンスペースで歩くので、ここはあまり心配がないでしょう。みんなでどっかでご飯食べましょう！ってオープンスペースで食べるときは、できるだけバラけること。最後、帰るときにどっかお土産屋さんへ寄りましょう！

て時は、ちゃんとマスクをしてもらうこと。

要は、人がたくさん集まる場所でバラけること、マスクをできるだけすることでしょうか。

せっかく、トレッキングツアーに来て空気が良いところで、ずっとマスクするってのはちょっとナンセンスな気がしますから、歩いているときはマスクを外して距離を空けてもらえばいいでしょう。

質問： バスの空調による感染防止対策は有効か？

回答： 後で、バスの中を見るので、そこでお話をしましょう。

質問： 感染防止に向けてバスの換気能力はどの程度が必要か？

回答： 後で、バスの中を見るので、そこでお話をしましょう。

～移動～

【佐藤】

お待たせいたしました。

これから、第2部の実践を三河先生よりご指導いただきます。

三河先生、お願いします。

バス

【三河先生】

今日は、山梨中央交通さんが対応してくれます。

中に入りましょうか？

バス、入り口に手すりがたくさんあります。

人がたくさん触る場所を高頻度接触面と言いますが、この手摺は、すべて消毒をすべきところですよ。しっかり消毒をしましょう。

バス内へ～

バスの中の感染対策ということでしたけれども、先ほど聞いたんですけど、この通路側の座席は全部開けて窓側に座っていただいているんですかね？今は・・・はい。

間隔を空けるといのは、マスクとフェイスシールドと同じくらい感染効果が、非常に高いと考えられています。

1メートルと言わず、できれば2メートル開けたりするが・・・ここは、どう考えても2メー

トル空かないので、窓側と窓側に空けて座るっていうのは、非常に良い対策だと思いますね。バスの換気をさっき調べたんですけど、大体、3分から5分ぐらいで空気が入れ替わると書いてありますが、対策はどれもこれも、できるだけやる方がよいと考えますので、窓が開けられるのであれば、窓を開けたほうが良いと思う。換気効率は上がると思います。

ただし、暑いのとトレードオフなので・・・

さっき運転手さんたちとお話ししたんですけど、お客さんがいないところの窓はちょっぴり開けたほうがいいかなーくらいが落としどころな気がします。

やれることはやって、できないことはやらない。その方がいいと思います。

バスの中の消毒する場所ですけど、先ほどの入り口の手すりの他は、ヘッドの部分と段差の部分の手摺と座席についている手摺(移動する際に持つところ・座って使うところ)は一番使う場所でしょう。

手が触れるところのリスクが一番、高いと思ってください。

こういうところは、消毒が必要となってきますが、一方で、床面と座面とか背もたれに関して、そこまで、拭いていたらきりが無いと思います。

まず、さっき言った、いっぱい触る高頻度接触面に関しては、定期的に使う前と使った後にアルコールか次亜塩素酸ナトリウムでの消毒をおすすめします。

アルコールは70パーセント以上、次亜塩素酸ナトリウムは0.02パーセント、次亜塩素酸水は、効果が不安定なので、おすすめしません。

床とか座面を本当に拭かなくて大丈夫なのかと言われたら、さっき言ったように対策は、できることできないことがある。

やって労力が多ければ、結局、続きませんから・・・できることに集中する方が良いでしょう。

そう考えると、床や座面は、何かの定期的なタイミングで拭くのは構わないが、毎回は、ナンセンスだと思う。

もちろん、感染者が出た場合は、やるべき。

山梨中央交通さんでは、オゾン発生装置を使って消毒をしているということでした。

オゾンと紫外線というのは、コロナウイルスを殺す効果があるとされています。

ただ、私がこの機械が本当にちゃんと実証できるのかが、よくわかりませんが、少なくとも乗客の方の安心のためには、意味があるでしょう。

ただし、安全を担保するかは、よくわかりませんので、もし感染者が1人出ちゃったときにオゾンだけでオクチャーするんじゃなくて、しっかりと消毒したり、拭いたりすることが必要だと思います。

拭くときは、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを布にシュッシュュッってやって、拭きとれば良いと思います。それで十分でしょう。

運転手さんたちのマスクは、布やウレタンではなく、皆さんの付けていらっしゃる不織布のマスクがベストです。

これがもっとも、飛沫が飛びにくく入りにくいので是非、これを付けるようにしてください。

後、何かありますか？突然すみません。

(間隔を空けると)どうしてもお客さんが少なくなってしまうんですけど、中央交通さんがされている対策は、ばっちりベストだと思うので、是非、参考にしてください。

～運転手さんたちがバスから降りる～

まず、一つ大切なのは、距離だと思います。

家族同士が密着するのはしょうがない。

マスクをしている限りは、多くの環境で心配がないと思う。

私が皆さんに言えることは、車外に出て、人が集まる時には、マスクをちゃんと付けてください。お土産屋さんやサービスエリアに行くときはマスクをつけて行ってくださいと言いたいことが良いでしょう。

それ以外は、例えば・・・手を洗って、消毒してから中に入るかどうかということに関しては、安全を保つ・・・つまり、コロナ感染症を広げるかに関しては、あまり効果がありません。ただ、入り口のところで手指衛生をしましょう！という態度を見せることは、その会社が感染対策に非常に気を使っている。ということを見せることができるでしょう。

お客さんの安全には繋がりますので・・・もし物があって可能なんだったら、入前にここでアルコール手指衛生をしてください!とお伝えすることは安心に繋がると思います。

このぐらいかな・・・後、先ほど質問があったんですけど、荷物を下のコンテナのところに積む場合に手袋が必要かという質問がありました。

結論から言うと、必要ありません。

手袋を付けても手を守れているようで、守れていない。結局、手袋を外したときに手が汚染されています。

手袋をつけようがつけまいが、何かに触ったらアルコール手指衛生をする。それで終わりです。

物をお預かりしたら、積んで、手指衛生をして顔を触らないようすればオッケーです。

(バスの入り口に)アルコール消毒が置いてありますね。

ピンクのやつ(テピカジェル)このエタノールで大丈夫です。

アルコールで手が乾いて荒れちゃうんですけど、グリセリンが入っていて手がすべすべになるやつが入っているので、何回やっても保湿がありますよっていうのがこっちです。

もう一つは、クロロヘキシジンです。アルコールより効果が落ちます。

効果が弱いのでおすすめしません。先ほどのアルコールのほうが良い。

～移動～

チャット質問： アルコール 65 パーセントでは、効果がないのでしょうか？

70 パーセントは、なかなか手に入りませんという質問が来ております。

回答： 65 パーセントは効果がないわけじゃなくて、弱い。遅い。時間がかかります。

何もないよりは、65 パーセントでもあった方が良い。

本当は、無水エタノールが手に入れば・・・薬局とかで調整して75 パーセントまで引き上げれば、尚、いいんでしょうけど、無水エタノールも手に入らないから、それだったら、65 パーセントでも良しと・・・病院では使わないです。

病院は本物のコロナウイルス感染症の患者さんがいますからね。

～入口へ～

【三河先生】

入り口を入ると右側にアルコールがあります。

フットパドルがあるならフットパドルのほうが、安心です。

どこにどのように置けば使っていただけるかを考えるのがいいかという・・・

さっきから見ているとちゃんと使ってくれているので良いですが、真ん中に置くのは、良し悪しで、少し邪魔だなという感じもあると思います。

施設によって、どこに置けば皆さんがやってくれそうかなーと考えることが大事。

色々、やってみるといい。ポイントポイントで置くと良いです。

(受付の導線にて)受け付けは、ここから入る。基本的に並ぶ際も密にならないように線で並ぶ場所が決まっている。

このようにするときれいに流れていく。これは、非常に良い工夫だと思います。

誰も密にならない。

桃狩りの受付があって、テープが貼ってあります。(並ぶ間隔のテープ)

お客さんたちみんな、マスクをしっかりとらっしゃるので、マスクをしている上でビニールが貼ってあるのは、安心にはなります。

安全対策上は、どうかっていうのは・・・安全対策上も良いかもしれません。

フェイスシールドがこの状況であれば、職員は付ける必要がありません。

よく見ると台の上にも、アルコールが置いてあり、職員の人が使えるように、お客さんもすぐに使えるように提供できるようになっています。

人がたくさんいたり、接する場面には、あのような手指衛生ができるようなものがあると安心に繋がり、非常に良い場所に置いてあります。

～ソフトクリーム売り場～

ソフトクリームを手渡しするところの職員の安全が担保できるかということですが、出すときには、手袋は必要ないです。さっきも言いましたが。

手袋は逆に不潔なんで、それをするよりもそのまま渡す方が・・・

看護師さんたちの的には、引っ掛かるところです・・・

こういう感じでアルコールが置いてあれば良いです。

たくさんの人と物のやり取りをするのであれば、アルコールを置いたり、職員が石鹸で手を洗えるようにすると良い。

～お土産の置いてある通路～

お土産がいっぱい並んでいますが、みんな触りますよね・・・触ることを止めるのはあまり意味がない。

止めたって無理だから、触ったら手指衛生をすれば良いです。

例えば、物にウイルスが付いていると仮定して、その手で物を触って顔さなければ大丈夫です。

だから、触ったなら、その後に手指衛生をすればいいわけです。

一般のお客さんには手指衛生ができる場所をいくつも作っておいて、こちらにどうぞ！と手指衛生ができますよってすれば良い。

職員の方は物をいちいち消毒するのは、ナンセンスですから・・・自分の部署に戻ってきたらアルコールなりで手指衛生をこまめにやりましょう！というのが良いでしょう。

もし、このお店で一生懸命に拭いたほうが良い場所は・・・レジカウンターです。

この水平面は人がいっぱい触って物が移動しますので、こういう場所は、朝と夜とか・・・あるいは、業務時間で一回、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムで拭いていくと良いでしょう。こういったところを高頻度接触面と言います。

～外へ移動～

(ぶどうの試食の様子を見ながら)

お客さんは、食べるときはマスクを外します。

職員の方は、マウスガードをしていますが、対策上の効果はないです。

この場面であれば、マスクをするべきです。

短時間ですが、相手(お客さん)はマスクしていないですからね・・・

その位の時間は、大丈夫じゃない？と言われたら、大丈夫な気もしますが、きちんと徹底するなら、相手がマスクを外す場面なので、こちらもマスクしていた方が良い。トレードオフです。

マスクをしっかり付けておいて、こまめに水分補給を摂る。

後ろにいるときには、マスクを外して、は一つと一息をつくかどうか、だと思ふ。

きちんとアルコール衛生してますね。素晴らしいです。

～宅急便伝票など、商談のテーブル～

おそらくないと思うが・・・商談をするときに対面で座らないといけなくて、ここに長時間

(15～20分)いる場合であれば、間にフィルターを置くか、フェイスシールドを付けるかのどちらかをした方が良いでしょう。

逆に言えば・・・長時間対面しないのであれば、幕とかフェイスシールドは使わなくて良いでしょう。商談のテーブルも高頻度接触面です。ここも拭く場面だと思う。

～屋外(葡萄棚の下で食事や桃・葡萄を食べる場所、お皿やカトラリーのお渡し場所)～
今、ちょうどここに手洗いスペースがあります。

元々は、桃や葡萄を触るとベトベトの手を水で洗う場面だけど、ここに石鹸が置いてありますね、ウイルスのことだけを考えるならば・・・石鹸は必要です。

なので、石鹸を置いて皆さんが使えるようにしておく方が良いでしょう。

アルコールでシュッシュして、ご飯を食べるにしてもベタつきは取れませんので、水場があつて石鹸が置いてあると良いでしょう。

拭くものは、持ってこいということで良いのではないのでしょうか。

手を拭く紙とか置いておくと、ごみ箱が増えて面倒くさいですから良いと思います。

手洗い場、素晴らしいですね。

(お皿、カトラリー提供テント)ここにみんなが使うフォーク・ナイフが置いてあります。

(感染対策のPOPをみながら)しっかりと見える掲示がしてあるのが素晴らしいですね。

安心にも繋がりますし、このお店が感染対策にも気を遣っていますと提示できます。

目に見える表示は、おろそかにすべきではないです。

お皿やフォークは使い終わった後は、普通に中性洗剤で洗えば事足ります。それで充分です。

皆さんが、使用済みのお皿などからウイルスをもらうことは考えにくい。

もし、それが心配なら洗う時にマスクすれば良いだけの話です。中性洗剤で十分。手袋をさ
れていますが・・・

(振り返って、カトラリーの置いてあるテーブルへ)

お客さんが使う、ナイフやフォークです。このように置いてもらっても構いません。

みんなが使うときにガサガサ触ったからって、それでコロナウイルスがうつるとかあまり心配しなくていいです。

非常に良いのは、すぐ隣に手指衛生のアルコールが置いてあることです。セットにすることでお客様の安心が更に増しますし、安全性も増します。

(食事のテーブルの配置をみながら)

全体をみると・・・このテーブルの位置は、比較的、近めだと思います。

家族で来る分には、どうぞご飯の時にマスクを外して、ご飯食べるんだから、もうこれはしょうがない。

もし、万が一、家族の中に感染者がいて、家族にうつっちゃう可能性がありますけれど、それを言うなら、車の中もお宿も一緒です。

この場合は、これ以上の対策は必要がない。

しいて言うと、テーブルの間をさらに空ければいいけど・・・間を空けるとお客さんが少なくなってしまう。

オープンスペースなので、そんなに感染対策上これ以上は、何かしなくて良いです。

暑いので、デフォルトで扇風機が置いてありますが、これも換気という意味でくるくる回っていることで良いと思います。これはこれでとても良いこと。

～葡萄畑へ移動しながら～

先程から見ていて思ったんですけど、マスクを付けるゾーンを明確にすると・・・

こちらのお店は、外のスペースと中のお店のスペースの二つあって、外のスペースはマスクを外して食べるスペースでそのまま(マスクを外したまま)お店の中に入ってくる可能性があります。

線を引いたり、掲示をすることでメリハリをつけると、よりお客さんにもわかりやすい。

マスクを外していいですよ！っていうゾーンをつくると、ややこしくなるので・・・それは掲示しなくて良い。

【保健所の方の質問】

先ほど、ナイフとフォークが置いてあったところは、先生は接触感染もあるけど・・・アルコール消毒剤も周りに置いてあるし、そんなに心配ないがないとおっしゃっていましたが、その兼ね合いというか・・・そこをガシャガシャやられると、ちょっと不衛生というか心配という声も出てきそうだなと思っていたんですけども、いかがでしょうか？

【先生の回答】

要約すると・・・ナイフとフォークが共用でボソボソといっぱい置いてあるのが、不衛生という考え方もあるんじゃないか？ということですかね？

けれども、それってコロナ以前の問題で、物がガサガサガチャガチャとなるのが不衛生だと考えるのであれば、それを置くべきではない。

例えば、さっきのところに蓋をすとか・・・分けておくとか・・・そういう方法もあるでしょう。でも、それはコロナとか関係ないです。

一般論ですね。まあどっちでもいいように思います。

あそこからコロナウィルスが伝播する可能性はあまりないと思う。

(移動しながら、熱中症対策についてのお話)

熱中症の対策も皆さん気を遣っていると思いますけど・・・

水分を取るときは皆さん、塩分も一緒に摂ってくださいね。

特にマスクをしていると水分忘れがちになりますけど、ちゃんと水分と塩分を一緒に摂る。ポカリスエットとか、スポーツドリンクは砂糖が入り過ぎなんで、濃度的に言えば、半分くらいに薄めると、体への吸収率が良くなります。

水分だけではダメで、塩と一緒に摂ることで水の吸収は良くなりますので、そういう形で摂ることをおすすめします。

よく言われるのは、しじみのすまし汁ぐらいがいいということですが、そんなもん屋外に置いてあるわけないし、オーエスワンは蘇生が良い。値段が高いし。ややこしいですね。あとは、水分を摂るだけじゃなくてちゃんと休むことと、“ふわっ”としたり“クラッ”ときたら、日陰で休んで下さい。

【保健所の方の質問】

先生が先ほど、バスの時に不織布が良いとお話していたと思うんですが、桃を売っている方たちのマスクもやはり不織布が良いのですか？

【先生の回答】

安全対策上のマスクはウレタンや布よりは不織布の方がいいと思います。

あのバスは特に閉鎖空間なので、だから尚更気を遣ったほうがいいんじゃないですか？ ことなんですけれども、不織布の問題は、ちと高いことと使い捨てであること、濡れると効果がないので、他のマスクも一緒だけど・・・特に狭い空間で密になりそうな人が働く所(病院みたいな所)は、不織布のマスクがベストです。

～畑に到着～

日頃、病院にいて、もやしっ子なので外に居ると皆さんお疲れ様ですね。

【チャット質問】

長時間接する、接さないの時間の目安はどれぐらいでしょうか？

【先生の回答】

一応、国の感染症研究所では、濃厚接触の定義を15分としています。

結局、それって比例関係という・・・ある線で見ると、5分だったらこのぐらいで、15分じゃこのぐらいで、ってものでもないんで、どこかで線引きするんだったら・・・1応、15分。長ければ長いほどリスクは上がるし、短ければ短いほどリスクは減ります。

～畑へ～

(畑の中の机にぶどう狩り用のハサミが置いてある)

【御坂農園さん】

ハサミで葡萄を切ってその場で食べる。

食べた後の皮や種は、バケツに吐き出してもらおう形をとっている。

【三河先生】

ぶどう狩りのこのスペースで、マスクを多分しないでしょう。屋外で暑いので。

他のお客さんともものすごく近くで、パクパク・ペッペッするとは思わないので、それはもう

しょうがない。マスクを付けること自体が危険だと思うので、付けられないと思います。ぶどうを触っちゃうのは、しょうがないことなんで「商品的な価値も問題あるから、触らないで」ということはもちろんそうですけど、葡萄をそのお客さんが触ることで、お客さん同士でうつるかということ・・・それは、お客様のモラルの問題です。

果樹農園として出来ることは、それ以上無いから、掲示をしていっぱい触らないように！っていうのと、手を洗える場所をつくっておくことの2つだと思います。

皮や種を入れるバケツに蓋をすればいいですけど・・・そこまでする必要はないと思う。それなら例えば、皆さんの事業所の中とかにある鼻紙ティッシュを入れるごみ箱は、全部アウトになる。

オープンスペースなので、あまり気にしなくていいでしょう。

皮や種をバケツに捨てるのではなくて、この辺の土の中にペッペッしちゃう可能性はありますが、土からいきなり口が出て、いきなりワハハと笑って飛沫が飛ぶことはありませんので、その感染リスクも気にしなくていいと思います。そこは、あまり心配がない。

種を片付ける時には、ごみ袋にきちんと入れて、どういう形で処理するにしてもそれに触った人は最後にちゃんと手を洗ってください。

もし、お気になるようであればしっかりマスクをした上で扱って、縛って手を洗ってマスクは捨てる。

あのそれで処理する側は、心配ないでしょう。

例えば、こういうハサミも共用で心配というお客さんもいるのであれば、アルコールで拭けるように、これはハサミ用の何かですので拭いても良いですよ！と言ってもいいと思う。それは安心のためでしょう。安全のためには、大して問題にならない。

大体、そんなところかな。何か質問がありますか？

まとめれば、今までの運用でいいんだけど・・・人が触るものと手を洗うで良いと思う。

何度も言うが、コロナウイルスが入るのは、目と鼻と口です。

そこが守られていることが重要です。

外でマスクするのは、暑苦しくて危ないですから・・・マスクはできない。

今、いったような手洗いをする場所の対策をつけるということになるでしょう。

【チャット質問】

試食をした、またぶどうを食べた手で触った房を触った人への感染リスクは、低いということですか？

【先生の回答】

感染リスクというのはその行動によって変わっちゃうので・・・またウイルスがいるかどうかですね。

極論で言えばですね、触ったら手を洗えば良いということ。

まあただ・・・このブドウ農園で、それできないですよ。

例えば、房を触らないこともできないし、手を洗うのを十分に準備できません。

ならば、それはそれでしょうがないしょうがない。

コロナウイルス感染症が爆発的に広がるのは、飛沫と空気じゃないけど・・・フワフワ浮いたものが同じ空間に居る場面です。

具体的には、老人がいっぱいいる施設やご飯を食べる、カラオケ、ライブ会場、そういったものでしたよね、今まで。

決まってるんです。狭い空間で、マスクがあるか無いか。無い人達がワサワサいて大声出す場所は、相場が決まっています。

接触感染するのは、無いとは言わないですが、程度は低い。

さっきも言ったように対策は、出来る事と出来ない事があります。

出来る事に衆力するべきで、出来ない事に関しては、申し訳ないけど・・・心配してもしようがない。だって、できないんだもん。

それも含めて、ゼロリスクは無い。

ゼロのリスクは無いなかで、リスクをいかに下げられるところで下げて、下げられないところは、お客さんもこみこみでそれ、しょうがないと思うでしょう。

そうやって生活していくことだと思います。

言うど・・・この房を触って、感染リスクがあるか無いかっていったら、ないわけじゃないけれども、他の飛沫感染対策のリスクを下げるの方が重要だということです。

～移動～

先ほども言いましたけど、山梨県内は市中感染が広がっていると思ったほうがいいです。

思ったほうがいいというのは、東京ほどじゃないにしても、結構、都内とか首都圏に行っていない人でも出ていました。

多いのは企業の中と家庭内感染がもう出ています。

以前、何かの記者会見でも言いましたが、これが増えてくるのは、もう避けられないよと。

さっきも言いましたが、県外から来るお客さんからうつるっていう概念よりも、職員同士でうつる可能性を考えてください。

具体的には、職員の健康は・・・熱だけではダメで・・・

そういえば、入り口でサーモグラフィーを使っていましたね。あれは、良い案ですね。

手間がかからず。

サーモグラフィーは、体温の誤差がありますから、本当はお客さんに症状を聞けるといいですね。聞きにくいですが。

けれど、職員には遠慮なく聞いてください。

職員が気持ちよく休める環境づくりをできるだけ心がけて下さい。

どうしても、職員が・・・私がいないとダメなんだと思っている限りは、その企業はやられません。

職員が休むスペースや食事をするスペースが、すごく狭くなっていないか注意してください。

特にご飯を食べる場所や、休憩する場所が室内のクーラーが効いたところで狭い環境になっていないか。

あるいは、おやつを食べたり、休んだりするときにみんな一色単になっていないか。

マスクを外して物を食べるときにみんな一緒になっていたら、一網打尽ですから。

そのスペースをなくすか、広い場所を使うか、工夫をして下さい。

あとは、家庭の中で風邪症状があったり、熱症状があれば、家の中でちゃんと隔離をするようにしてください。

今、山梨県内はPCRの検査は比較的、円滑にできていますけど・・・全員が全員、検査が受けられるかと言ったら、それはそういうものでもない。医者が判断することですから。

ただ、ものすごくたくさん検査をされていてですね、昨日(8/4)も中央病院で熱の人だけで30人とかものすごい数が来て、お医者さんも看護師さんもへばっています。

私からすると・・・できれば、色々なところに出歩いてほしくない。

～（職員食堂）～

ここのお店の職員さんのごはん処は、衝立で遮られていて、一番奥です。

テーブルの上には、注意書きがしっかりあります。（食事中の会話を避けましょう、距離を取りましょう）私だったら、対面にならないように病院の中だったら椅子は、間引きます。椅子があると座るので、椅子を間引いてどこかに片づけます。

そうすることで、ここに座れる人数を制限。

お客さんが食べるスペースも同様に、椅子を間引くほうが良いかもしれません。

そうすると、自ずと座るスペースが限られるでしょう。

テーブルも減らせば減らすほど、密は避けられて拭く場所も減る。

そのギリギリの数は、お店ごとでカウントしても良いかもしれません。

このお店は、空間が広いので、結構いい環境。

実際に休憩場所は、もっと狭いところが多い。狭ければ狭いほど、リスクが上がる。

～移動～

（添乗員休憩所）

添乗員さんの休憩所です。最初に話をしたところでは。

ここは、狭くて椅子が多い。

中に入っただけであればわかりますが、この狭いスペースに喫煙所もある。

寧ろ、喫煙所のほうが中が(?)な気がします。椅子は減らしたほうがいい。

本当は、他に休憩所があって、人をバラけさせられたら良い。

このスペースの広さなら、中にいる人はマスクをしないといけません。

外したりすることは、出来ないでしょう。

このスペースで職員がご飯を食べるなら、精々、3人という感じですね。

【佐藤】

皆さん、お疲れ様でございました。

三河先生ありがとうございました。

これから、チャットの質問にお答えいただきます。

お願いします。

～チャット質問～

質問： 手洗い用の消毒液とハサミの消毒は別の種類ですか？

食品に掛けられるアルコール消毒液のほうが良いのですか？

回答： これ、次亜塩素酸ナトリウムでなければ良いと思います。

食品用のアルコールとそうでないものの違いは、酒税法に引っ掛かるか、かからないかが問題だと思います。

おそらく、イソプロパノールが入っているやつとそうでないやつだと思います。

別に食品用じゃなくても、純正のアルコールだって85パーセント以上を飲む人だっていますよね？私は、ご免ですけど・・・

アルコール、エタノールであれば大丈夫です。

質問： 売店でのジュースやワインの試飲は、いかがでしょうか？

回答： 別に構わないのではないのでしょうか？

この場合のリスクは物に触れるということと、マスクを外すタイミングですね。

マスクを外すタイミングは、周りにどの位のスペースがあって、周りにどのくらいの人がいるかで変わると思います。

例えば、狭いスペースに全然知らない人たちがゴロゴロいる中でマスクを10分、15分外して、お酒をワイワイ飲む(酒盛り)これは、リスクが高い。

ですが、例えば・・・売店が広い、外のオープンスペースでちょっとマスクを外して、ちょっと飲んでみるというのは、大丈夫でしょう。

自分だったら、マスクを外す時間を最小限にして、マスクをちょっと外して(下に下げたり)飲んでみてくださいと・・・飲んだらすぐにマスクをして下さい！くらいの感覚で良いのではないのでしょうか。

ワイナリーのワインの試飲に関しては、また次回、ワイナリーにいきますので、そこでお答えします。

質問： 試食を出しながら、ぶどうの販売をする際(対面販売)に特に気をつけることはなんですか？

回答： 試食を出しているということは、相手はマスクを外します。

なので、こちらはマスクが必須です。

暑かろうが何だろうが、マスクは必須です。

マウスガードではダメです。マスクです。マスクをした上で、接する時間がワンポイントであれば・・・

例えば、「はいよー」と渡して、お客さんがそのまま後ろを向いて食べているとかですね。

そのくらいだと良いですけど、(ないと思うけれど)試食をしながら相手としゃべったりする(「こっちのぶどうがねー」「お値段は〇〇だけどねー」「送るとどのくらいかかるのー?」)やり取りをするような時間の長さならば、相手がマスクをずっと外しているのであれば・・・フェイスシールドを付けるのはあります。

こちらがマスクを付けて、フェイスシールドを付けるのは、場面によってはあり。後は、マスクをして前にアクリル板でも衝立でもある中でやり取りをする分には、大丈夫でしょう。

相手がマスクを外しますので、飛沫に気を付けるということになります。

それが特に気を付ける場面だと思います。

物(試食等)を出して、片づけますと言ってゴミを受け取ったら、後で手を洗えば良いだけの話です。

【佐藤】

今のお話にあった、飛沫防止のアクリルスタンドとアクリル板がこちらにあります。

こういうものでもよろしいですよ？

回答： そうですね。おそらくこういった物を使わないよりは、対面で何かするときには使用したほうが安心でしょうね。

その代わりにするのが、マスクとフェイスシールドです。

【佐藤】

ありがとうございます。

そのほか、ご質問はございますでしょうか？

皆さん、たくさんの質問ありがとうございました。

以上を持ちまして、ご質問の受付を終了させていただきます。

以上